

おやこマルシェ

家族の日常を彩る買い物空間

— concept —

共働きや核家族化が進む中、小さな子どもを持つ家庭にとって日常的な買い物は大きな負担となっている。そこで子供が「また行きたい!」と思える食料品店であれば家庭の負担も減り親にとっても「また行きたい!」と思える空間になると考えた。おやこマルシェは、子どもが主体的に買い物関われる場と、親同士の交流を生む場を設け、単なる買い物の場から、家族や地域をつなぐ空間を提供する。ここでの買い物は「生活のため」だけでなく「また行きたい!」と思える空間として記憶に残り、親子のコミュニケーションを育む。私は、学びと交流を内包した安心で開かれた買い物空間を通して、これからの地域における商業空間の新しい可能性を提案する。

— target —



お使いしてみたいけど安全が心配・・・

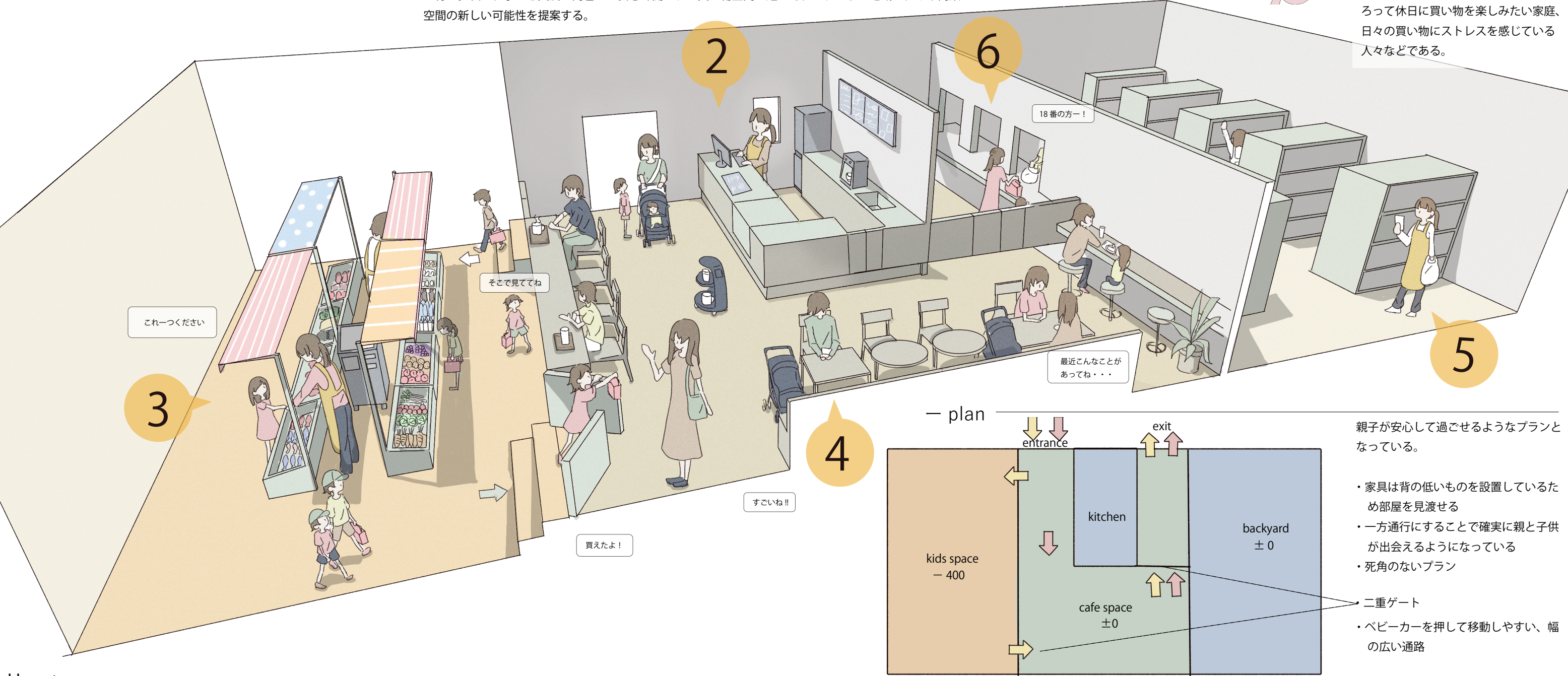
ネットスーパーをよく使うから
子供が買い物する経験する機会がない・・・

スーパーは通路が狭いから
ベビーカーを押していけないで大変・・・

子育て中の同世代の人と
お話してみたい・・・



おやこマルシェは、大量購入には適さないが、左のような悩みを持っている人はもちろん、日常の小さな買い物を楽しみたい人を主な利用者として想定している。例えば、子どもの送り迎えのついでに立ち寄りたい親、家族そろって休日に買い物を楽しみたい家庭、日々の買い物にストレスを感じている人々などである。



How to use

1 親子で買うものを一緒に決める。親子のコミュニケーションだけでなく、子供の食育にもつながる。

今日のご飯なにがいい？

カレー！

うん！

2 受付でスマホを読み取り、スマホに紐づけた施設内でのみ地用できるコインを受けとる。また受付番号が割り振られる。この時点ではお金は引き落とされない

じゃあ、人参とジャガイモ買ってきてくれる？

1800 円分お願いします

ピッ！

3 子供が商品とコインを交換して、店員がコインを登録する。商品棚に並んでいる商品は、子供でも扱いやすいように食品サンプルとなっている。

500

500

4 親のスマホで、子供が実際に払ったコインの金額分だけ、商品を購入できるようにする。ここで注文するとお金が引き落とされる

野菜 500

購入しました。

人参 × 3 300
じゃがいも × 1 100
合計 400

5 スマホで注文した内容はバックヤードに伝達され、バックヤードで注文した商品を袋に詰める。納入した商品をバックヤードから、商品棚に移して並べる手間を省くことができる

29番

注文が入りました。

にんじん × 3
じゃがいも × 1

6 子供が持っていた食品サンプル、かごと実際の商品を交換する。重い買い物をしたときに、それを持って店内を歩き回らなくてよいというメリットがある。親に頼まれたお使いを達成することで、子供はやりがいや誇らしさを感じ、「また行きたい場所」となる。

じゃがいも